



たしみず 市議会だより

ジョン万のふるさと土佐清水



第123号

2022年12月1日



撮影時のみマスクを外しています

7月会議・8月会議・9月会議・9月第2回会議

○ 7月・8月・9月・9月第2回会議の概要	2
○ 正副議長就任あいさつ・委員会構成	3
○ 議案等の議決結果	4
○ 一般質問(要旨)	5
○ 委員会の審査内容(抜粋)	13
○ 委員会の活動報告	17
○ 議長の活動報告	19
○ 議会日誌	20

三崎保育園



Tosashimizu Geopark
土佐清水ジオパーク

令和4年土佐清水市議会第2回定例会 開会 会期を9月14日から12月28日までの106日間に決定!!

7月会議の概要

日時 7月14日

審議期間 1日間

市長提出議案 1件

議案は、所管委員会へ付託し、審査を経て、結果報告が行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決。

8月会議の概要

日時 8月2日

審議期間 1日間

市長提出議案 2件

それぞれ所管委員会へ付託し、審査を経て、結果報告が行われ、採決の結果、全会一致により原案のとおり可決。

9月会議の概要

9月会議は9月14日の一日開催で開会し、令和4年土佐清水市議会第2回定例会の会期を12月28日までの106日間と決定しました。今夏の選挙後、初めての本会議であり、正副議長選挙、議会運営委員

会委員の選任及び常任委員会の選任のほか、監査委員の選任など、新しく議会の組織について決定されました。

選挙の結果、議長に細川博史議員、副議長に作田喜秋議員が就任し、浅尾公厚議員の監査委員選任について同意し散会しました。

9月第2回会議の概要

再開 9月第2回会議は9月26日に再開し、10月17日まで

の22日間の審議期間で行われ、市長から報告3件及び議案19件が提出されました。

また、陳情第2号「斧積地区、ウツギ新田の農地区画調査について」が提出され、所管の委員会に付託しました。

先議 議案第60号から議案第63号については、関係法令等の施行に合わせ10月1日から

の施行とするため、また議案第65号については、工期が令和5年3月15日までのため、早期の着手が必要ことから、再開日にそれぞれ所管の委員

会に付託し、審査後、各常任委員会から審査結果報告が行われ、採決の結果、全会一致により、原案のとおり可決。

一般質問 10月3日から5日の3日間行われ、8人が登壇、

本市の個人情報取扱い、豪雨災害に備える、漁業振興、特別養護老人ホームしおさい、避難タワー・避難場所及び避難路等、#7119、本市の移住支援、個人情報の不正利用に関わってなど、質問戦を展開しました。

追加議案 また、5日の一般

質問終了後には、市長から議案3件が追加提出されました。

最終日には、9月第2回会議で付託された議案について、各常任委員会委員長から審査結果の報告を行い、議案第47号について前田晃議員、岡本詠議員から修正動議が提出されました。

委員長報告等に対する質疑討論が行われ、採決の結果、全て原案のとおり認定及び可決しました。

また、議員から市議会議案

意見書

次の意見書を関係省庁等に提出しました

○会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正と雇用安定に関する意見書

一件（会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正と雇用安定に関する意見書）の提出についてが提出され、採決の結果、「賛成多数」により可決。その後、議会運営委員会から市議会議案一件（個人情報管理事務の調査に関する決議）が提出され、この決議に基づく調査特別委員会（百条委員会）の設置については、採決の結果、「可否同数」となり議長裁決により否決。以上で、散会となりました。

人事案件

○監査委員

●浅尾 公厚 氏

（三崎浦）再任

正副議長就任あいさつ



副議長 作田 喜秋



議長 細川 博史

寒冷の候、市民の皆さまにおかれましては、御健勝のこととお喜び申し上げます。

さてこの度、9月会議において第61代議長、第59代副議長に選任されましたことは、身に余る光栄と感謝いたしますと共に、その果たすべき役割と責任の重さに身の引き締まる思いであります。

コロナ禍が長期化し、私達の日常生活はもちろんのこと、医療・介護現場・観光・宿泊業・飲食業・農林水産業等、各分野において甚大な影響を及ぼし、地域経済は疲弊しています。これら喫緊の課題に対して、二元代表制の一翼を担う議会の役割を自覚し、また一方では、執行部と議会が一体となって解決に取り組むことが必要と考えております。

市民の皆様の負託に応え、土佐清水市政発展と市民生活向上のために、おごることなく努力してまいります。どうか市民の皆さまには、本市議会に対しまして、より一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。

委員会名簿

◎委員長 ○副委員長

常任委員会			議会運営委員会
総務文教	産業厚生	予算決算	委員
◎ 新谷 英生	◎ 山崎 誠一	◎ 岡本 詠	◎ 弘田 条
○ 浅尾 公厚	○ 形岡 弘士	○ 吉村 政朗	○ 前田 晃
武政 健三	弘田 条	新谷 英生	新谷 英生
吉村 政朗	作田 喜秋	形岡 弘士	武政 健三
前田 晃	岡本 詠	弘田 条	永野 裕夫
	永野 裕夫	武政 健三	
所管：企画財政課、総務課、危機管理課、税務課、会計課、消防本部、選管、監査委員、教育委員会、他の事項	所管：農林水産課、農業委員会、観光商工課、国立公園* ジオパーク推進課、まちづくり対策課、水道課、じんけん課、健康推進課、福祉事務所、市民課、特別養護老人ホームしおさい	山崎 誠一	
		作田 喜秋	
		前田 晃	
		浅尾 公厚	(議長)
		永野 裕夫	(副議長)
5人	6人	11人	5人+(2人)

議案等の議決結果

議会	番号	件名	議決結果
7月会議	議案第44号	令和4年度土佐清水市一般会計補正予算(第3号)について	可決
8月会議	議案第45号	令和4年度土佐清水市一般会計補正予算(第4号)について	可決
	議案第46号	工事請負契約の締結について	可決
9月会議	同意案第4号	監査委員の選任について	同意
9月第2回会議	報告第9号	専決処分した事件の報告について(半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	-
	報告第10号	専決処分した事件の報告について(土佐清水市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	-
	報告第11号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	-
	議案第47号	令和4年度土佐清水市一般会計補正予算(第5号)について	可決
	議案第48号	令和4年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第49号	令和4年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第50号	令和4年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第51号	令和4年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第52号	令和4年度土佐清水市特別養護老人ホームしおさい特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第53号	令和3年度土佐清水市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第54号	令和3年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第55号	令和3年度土佐清水市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第56号	令和3年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第57号	令和3年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第58号	令和3年度土佐清水市特別養護老人ホームしおさい特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第59号	令和3年度土佐清水市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第60号	土佐清水市職員特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第61号	土佐清水市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第62号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第63号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第64号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
	議案第65号	工事請負契約の締結について	可決
	議案第66号	令和4年度土佐清水市一般会計補正予算(第6号)について	可決
	議案第67号	令和4年度土佐清水市特別養護老人ホームしおさい特別会計補正予算(第2号)について	可決
	議案第68号	工事請負契約の締結について	可決
	市議会議案第4号	「会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正と雇用安定に関する意見書」の提出について	可決
	市議会議案第5号	個人情報管理事務の調査に関する決議	否決
	動議	議案第47号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算(第5号)について」に対する修正案	否決
	陳情第2号	斧積地区、ウツギ新田の農地区画調査について	不採択

賛否の分かれた議案

番号	件名	新谷英生	形岡弘士	弘田条	武政健三	山崎誠一	吉村政朗	作田喜秋	岡本詠	細川博史	前田晃	浅尾公厚	永野裕夫	議決結果
議案第47号	令和4年度土佐清水市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	×	○	○	可決(賛9、反2)
市議会議案第4号	「会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正と雇用安定に関する意見書」の提出について	○	○	○	×	○	○	×	○	議長	○	×	○	可決(賛8、反3)
市議会議案第5号	個人情報管理事務の調査に関する決議	○	×	×	○	×	○	×	○	議長(×)	○	×	除斥	否決(賛5、反5) ※可否同数のため議長裁決により
動議	議案第47号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算(第5号)について」に対する修正案	×	×	×	×	×	×	×	○	議長	○	×	×	否決(賛2、反9)

一般質問

岡本

詠 議員



1 本市の個人情報の 取扱いについて

◇「永野裕夫議員の個人情報不正利用に係る市職員等への謝罪文に関して」

（議員）
永野氏に事務分掌表を交付した経緯は。

（市長）
4月下旬、永野前議長から「危機管理上緊急を要する場合に限り利用するので、事務分掌表を交付してほしい」との要請を副市長が受け、個人情報保護条例で、議会も実施機関になっており、そのような条件であれば問題ないと考え許可をして副市長から交付した。

（議員）
実際に選挙に利用されているが、市職員の個人情報を永野氏に渡すことは、そうなる可能性があると考えなかったのか。

（市長）
永野前議長においては6期目のベテラン議員であり、個人情報保護条例第3条に規定されている実施機関の責務を十分に承知していると思っていたので、このようなことに使われるとは思わなかった。

（議員）
実施機関といえども業務内容が違うので何を渡してもよいとはならないと思う。
高知県の他の33市町村では「危機管理上といえども議長に職員の個人情報を渡すことはない」とのこと

だった。
今回初めて渡したとのことだが、選挙のある今年に限ってなぜ永野氏に渡したのか、とても違和感がある。永野氏を告発はしないのか。

（市長）
今回の事案発生以降、顧問弁護士への相談を継続しているところであり、また中村警察署清水警察庁舎へも相談をしているので、今後の推移を見極めたい。

（議員）
当然、永野氏の責任は非常に重い。
しかしこの事案の原因は、条例を無視したあまりにもずさんな市の個人情報の管理及びその取扱いだと考える。
事務分掌表が第三者の手に渡り不正利用されている

時点で、約400名全職員に個人情報漏えいしていることを知らせる義務があるが152人にしか謝罪していない。

市が失った信用を回復するには、正直に市民が納得できる説明と解決方法を示し、その責任を果たしていくべきではないか。

（市長）
顧問弁護士の見解も聞いているが私達と議員とで個人情報保護条例の見解の違いがあり、これはしっかりとあらゆる場を通じて明らかにしていきたいと思うが、個人情報保護条例に基づいた運用と確認している。

気になる用語

事務分掌表とは… 土佐清水市においては、土佐清水市事務分掌規程等に基づいて、市役所内の組織（課や室、事務局など）及び機構を組織図で示し、組織の管理職（課長や局長）、補佐、係長及び課員（会計年度任用職員を含む係員）の職名・氏名・担当業務を記載しているもの。

1 豪雨災害に備える

◇近年の気象の傾向について

(議員)

ここ数年、本市を通過する台風が少なくなり、線状降水帯が各地で多く発生し、段々と北の方に発生してくるようになった。

また、今年の夏は35度を超える暑い日も続き湿度も高い日が続いた。来年以降もこの状態が続くのではないかとの記事もあった。

近年の気象の傾向について危機管理課長に聞く。

(危機管理課長)

全国1,000地点における時間降水量50mm以上の「非常に激しい雨」の発生回数が1976年から1985年の10年間平均が17



高知県西南部豪雨災害(下益野)

3・8回、2007年から2016年の10年間の平均が232・1回と30年間で58・3回増加、全国各地で大雨の頻度は増加しているといえる。

清水の平均気温はここ30年で0・8度上昇している。

2 高知県西南部豪雨災害について

◇高知県西南部豪雨災害時の気象について

(議員)

21年前の平成13年9月に、高知県西南部豪雨の大災害が発生した。

私は当日の朝、斧積区長場で消防団員として待機中、下川口が浸水したとの連絡あり、大変心配をした。市道も浸水して斧積が孤立、お宮の上下も堤防の決壊で田が池の状態になった。

電柱も土地ごと流され停電と電話も不通なる状態になった。

この時の気象状況について、危機管理課長に聞く。

(危機管理課長)

平成13年9月5日夜か



ら、西日本上空に活発な秋雨前線が停滞した。前線に向かって流れ込む暖気流と、台風16号からの水蒸気で、大気の状態が不安定となった。

9月6日未明から早朝にかけて500ミリを超えると推測される豪雨により、市内各河川が氾濫し、宗呂川、益野川、貝ノ川川の浸水被害は甚大であった。



高知県西南部豪雨災害(下川口)

一般質問

新谷 英生 議員



1 個人情報不正利用について

(議員) 事務分掌表はどういうもの、誰が何人持っているか。

(総務課長)

氏名他、所属・住所・電話番号の載った職員録。市長ら合計117名が所持している。

(議員)

事案が起きた直後の感想、対応を聞く。

(副市長)

市職労が支持協力していることは聞いていたが、選挙中でもあり直後は対応せず、選挙後に確認を取った。

(議員)

本市の選挙中に起きた大変大きな出来事。

市の信頼回復のために何が必要か、何をしていくか。

(市長)

弁護士へ相談しながら、今後の推移を慎重に見極める。

事務分掌表取扱要綱を制定し、信頼回復へ努める。

(議員)

すべての疑問解明や信頼回復とは言えない。

永野議員からも全員協議会で「市民へ説明する」とあったので、今後の対応を議員の一人として注視していく。

2 漁業振興について

(議員)

10年前、5年前、現在の漁業従事者、漁獲高について聞く。

(農林水産課長)

10年前は、漁業従事者は472人、漁獲高は29.9億円、5年前は394人、32.7億円、現在は302人、19.1億円。

10年前から170人減、10.8億円減となっている。

(議員)

この10年で新規漁業者は何名増えたか。

I・Uターン者数、後継者の数を問う。

(農林水産課長)

10年間に20人程度が入る。

そのうちのIターンは14人、Uターンが2人。後継者は5〜6人と聞いている。

(議員)

漁業従事者にはどういった補助や助成事業があるのか。その利用状況を問う。

(農林水産課長)

漁業就業支援事業に約30名、漁船エンジン購入補助事業に19人、漁業近代化資金に34人、現在は燃油1Lに対して3円の補助もある。

(議員)

歴史ある伝統の釣り漁師らがつないできた本市の基幹産業である水産業。未来につなげる持続可能な水産業の姿について聞く。



(農林水産課長)

漁協や県の漁業指導所・水産振興部や水産庁と共に次の時代を見据えた漁業のあり方を要請要望していく。

併せて水産業の基盤となる漁協の経営改善なども取り組んでいく。

一般質問

吉村 政朗

議員

1 特別養護老人ホーム

しおさいについて

(議員)

コロナ禍の中、しおさいとしてどのような**予防措置**を講じてきたのか。

(しおさい園長)

国や県からのガイドラインにのっとり、予防接種や面会制限、外部業者の入出制限及び職員に対する入所時の検温、消毒、マスク着用、行動報告、PCR検査等実施してきた。

考えられる予防措置はとってきたと思う。

(議員)

8月15日からの1カ月間で、利用者及び職員が罹患したと聞けが、その時の対応を問う。

(しおさい園長)

陽性者はすぐに病院に連絡し、入院またはしおさいで治療した。

感染拡大しないよう保健所からも助言をもらい、陽性者や濃厚接触者等の居室を再編した。

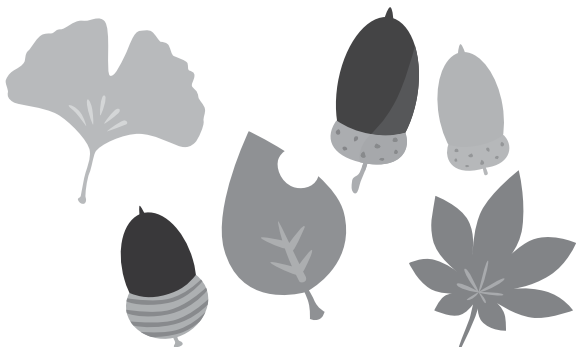
(議員)

今回の感染により、職員も大変な状況での勤務を強いられたと思う。

職員不足による連続勤務や、自分を介して広がる感染に対する恐怖感は想像を絶するものがあつたと推察する。これから先、職員のモチベーションに対する施策も重要になってくると思うが、園長の考えを聞く。

(しおさい園長)

今回の感染では職員に無理をさせた。我が身を顧みず職務に邁進してくれた。



モチベーションを低下させないよう対応策を考えていく。

(副市長)

広域や高知県へ協力依頼・要請をしていくと同時に人材確保に努める。

2 個人情報不正利用

について

(議員)

個人情報の不正利用があつた時に**対応する機関**はどこなのか。

(総務課長)

担当所管の総務課になる。

(議員)

今後、不正利用を防ぐためにどのような**対策**をとるのか。

(副市長)

今回の事案は極めて遺憾であり、市民の皆様に変なご迷惑とご心配をおかけした。

今後は土佐清水市事務分掌取扱要綱を制定し、再発防止に努める。

(議員)

今回の不正利用により、現在進めているマイナンバーカードの発行に対して個人情報の漏えいを心配する声があるので。

(総務課長)

マイナンバーカードは情報の系統も全く異なり、市民の個人情報は強固に守られているので安心していただきたい。

(議員)

市の個人情報保護に対する認識の甘さが露呈した。市としてこの問題をうやむやにすることはあつてはならないことだ。しっかりと事実確認を重ね、毅然とした対応をするよう求めておく。

一般質問

山崎 誠一

議員

1 避難タワー・避難場所 及び避難路について

(議員)

津波ハザードマップに、津波浸水の深さや緊急避難場所、津波避難ビル、避難所、避難タワーなどが載っている、越前町公園の避難タワーのこれまでの経過と今後の処分予定などを聞く。

(危機管理課長)

東日本大震災後に被害想定が見直され、津波の高さが大きくなり避難場所から削除した。

撤去には多額の費用が掛かり津波対策の歴史を知る教材としての防災学習での活用を検討中。

(議員)

低い避難タワーは、高台

にある避難場所へ移す、要望のあるところへ移転するなど、とにかく地域住民の意見を聞いてみる、市民の意見を聞いてみる、調べてみる、それが一番ではないかと思う。

また、避難路、避難場所の増設は可能かなどについて聞く。

(市長)

集落でも高齢化や過疎化が進み、5年前に作った避難道が有効なのか、もう一回検証する機会と捉えて、やっていきたいと思っ

ていく。今後、新しい避難路、または、避難タワー、避難場所も含めて、もう一回検証をし、必要であれば地域や自主防災組織の皆様と協議検討していく。



越前町避難タワー

2 赤ちゃん、紙おむつ・ 粉ミルク等購入支援

について

(議員)

子育ての負担軽減を目的とし、紙おむつ及び粉ミルク等、子育て用品を購入する費用の一部を助成し支援を図る事業について、乳幼児が2人いるお母さんから、20000円刻みのチケットを10000円刻みにならないかと言う相談が私にあった。

福祉事務所が対象世帯に

アンケートを取ったとお聞きしたが、実施した結果について問う。

(福祉事務所長)

対象世帯76世帯のうち55世帯から回答、集計で多い順では「使える品目を拡大して」「額の見直しをして」「使える事業所を拡大して」などの声があった。

(議員)

アンケート結果を受けて、より使い勝手のよい制度にならないか問う。

(市長)

今般は少子化に伴う保育所や小学校の再編など議論が必要で、切羽詰まったところに来ている。

子育て教育環境の充実には力を入れた政策が絶対必要と考える。

支援は対象者が使用しや

すい充実した環境を整えることが重要と考える。実現可能なものから対応をしていきたい。

気になる用語

赤ちゃん紙おむつ・粉ミルク等購入支援とは…

市が指定する販売店で使用できる購入券(2,000円券を24枚、年額48,000円)を、その年度4月1日以降に生まれた満1歳に満たない子どもと同居し、養育している方に支給。対象の赤ちゃんが使う紙おむつ、布おむつ、おむつカバー、おむつライナー、おしりふき、ベビーソープ、粉ミルクを購入する際に使用できる。

一般質問

作田 喜秋

議員

1 男性用トイレに

サニタリーボックス の設置を

(議員)
市が管理しているトイレはいくつあるか。

(総務課長)
本市が管理していくトイレは66箇所ある。

(議員)
サニタリーボックスは女性用トイレか男女兼用トイレに設置されているが、近年、高齢者の男性を中心に前立腺がんや膀胱がんになる方が増えており、おむつや尿漏れパッドを使用することがあり、そのため男性用トイレでも、サニタリーボックスの設置が求められている。

まずは市庁舎の男性用ト

イレに設置してはどうか。

(総務課長)

公共トイレは、誰もが利用しやすいものでなければならぬ。

市庁舎内の男性用大トイレが8個あり、今後各室にサニタリーボックスを設置していく。

2 #7119について

(議員)

本市における過去5年間の救急車の出動件数は。

(消防長)

件数は、805件から898件等、年ごとにばらつきはあるが、総じて増加傾向にあり、平均すると844件となる。

(議員)

搬送した軽症者の割合は。

(消防長)

搬送後、医師の診断結果によれば、ほぼ4割が軽症となっている。

(議員)

本年8月1日より、#7119の運用が開始されている。

この事業は救急車の適正利用を図ることを目的としたもので、急なケガや病気をした時、救急車を呼んだ方がいいのか、すぐに病院に行った方がいいかなど判断に迷った時、#7119に電話すると看護師や医師が緊急度を判断し適切なアドバイスを受けることができる。

#7119についての周知やこれからの取組みは。

(消防長)

#7119は、24時間365日体制で行っており、電話で専門家からアドバイスを受けることのできる電話相談事業で、本県では今年8月1日からの1カ月で、495件の相談があり、そのうち本市では8件の相談があった。

周知方法は、広報誌やホームページへの掲載、各医療機関への啓発カードの配布、テレビコマーシャルなどを行っており、今後は、救急講習や消防訓練での周知など、機会を捉えて広報活動等を行っていく。

気になる用語

#7119について… 急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷う際に、専門家(医師や看護師等)からアドバイスを受けることができる救急医療電話相談のこと。365日24時間対応の無料通話となっている。

一般質問

武政 健三

議員

1 本市の移住支援について

(議員)
本年度の本市への移住者の件数と人数の進捗は。

(企画財政課長)

8月末現在、27組41名で、過去最高の昨年度を更に上回るペース。

(議員)

移住者向け賃貸住宅として登録を行う建物を対象に、建物の改修工事及び荷物の処分費用の補助があると聞いたが。

(企画財政課長)

移住者向け住宅として回収・修繕にかかる費用の一部の補助として、上限182万4千円、及び荷物の処分費用上限5万円、そして

耐震改修費用あわせてちょうど上限300万円になる補助がある。
(ただし改修後10年間は移住者向けの空き家として貸すことが条件)



移住オンライン説明会

2 南海トラフ地震の対策

(議員)
本年度の耐震診断、耐震改修工事、老朽住宅除却、ブロック塀撤去、改修の、各予算と実績の進捗は。

(危機管理課長)

8月末現在、耐震改修診断予算50件に対し、実績が40件、耐震改修工事予算40件に対し、実績が29件、老朽住宅除却予算55件に対し、実績が59件、ブロック塀等耐震対策予算20件に対し、実績が13件。

3 ふるさと納税について

(議員)
ふるさと納税、2021年度高知県5位までの自治

体の実績と本市の実績は。

(観光商工課長)

1位、芸西村20億93万円、2位、須崎市19億4042万円、3位、室戸市18億946万円、4位、四万十町13億7094万円、5位、黒潮町11億1962万円、本市は2億659万円。

(議員)

1位の芸西村はゴルフ場1日貸切り3200万円、プランなど、楽しい工夫がある。

この2年間、全国で70%増、高知県内でも43%増とふるさと納税が躍進している中、本市は反対に15%も落としているが、市長の所見は。

(市長)

寄附額の増加に向けて、短期的、中長期的の戦略を

立て、業務の一部を外注することも選択肢の一つとして、来年度に向けてより効果的な体制づくりを検討する。

(議員)
財源の少ない本市にとって、そして漁業や農業を含む生産者にとっても、ふるさと納税は大きなチャンスなのでしっかり検討していただきたい。

一般質問

前田 晃 議員



1 個人情報の不正利用に

関わって

(議員)

市役所の事務分掌表(職員録・個人情報)が選挙活動に不正利用された問題は、個人情報を使われた市民への人権侵害であるとともに、市政に携わる者の名誉を著しく傷つけ、信用を失墜させる重大な問題だ。不正利用の責任の所在は？

(市長)

永野前議長の不適切な管理にあることは言うまでもないが、選挙活動に不正利用された点については、市側も無関係で済むとは考えていない。

(議員)

「登録簿」に未登録など、事務分掌表の個人情報軽視

と不適切な管理が不正利用を招いたと考えられるが、市の個人情報の管理は適切だったか？

(市長)

これまで不正利用の報告もなく事務分掌表が適正に管理されてきたものと考えているが、来年度の個人情報保護法改正に合わせて検討したい。

(議員)

職務上の上司でない永野前議長に職員名簿約400名分を提供した理由は？

(市長)

災害・緊急時に市長・副市長と連絡が取れない時などでも対処できるように交付した。

(議員)

永野前議長の個人情報の管

理責任についての認識は？

(市長)

永野前議長は個人情報保護条例第3条に規定された「個人情報の保護に努める」義務を負っていたにもかかわらず、選挙運動に不正利用されたことは「管理責任あり」と言われても仕方がない。

(議員)

個人情報を選挙事務所に保管していたことについての所見。

(市長)

多数の者が出入りする選挙事務所ではなく、自宅や議長室に保管すべきだと思う。

(議員)

個人情報漏えいの事実確認をした上で、該当者に説

明の必要があるのではないか？

(市長)

検討したい。

(議員)

不正利用によって市が受けた不利益や被害は？

(市長)

市の情報管理に対する信用の失墜という事態を招いた。

(議員)

永野前議長は、個人情報保護条例の各規定に明らかに違反しており、法的責任、政治的責任が問われているが、市長の認識は？

(市長)

いろいろな解釈はあると思うが、顧問弁護士とも条

例の罰則が適用されるかどうかも含めて相談している。

(議員)

被害届を提出し、前議長を告訴すべきではないか。

(市長)

顧問弁護士・警察とも相談し、いろいろな状況を見極めていきたい。



委員会の 審査内容

(抜粋)

7月会議

予算決算常任委員会

令和4年度土佐清水市

一般会計補正予算

(第3号)について

◆農業総務費について

(執行部)

新地場産品販売施設建築工事について、当初予算は令和3年12月時点の価格で算定していたが、今回の入札に際しては、令和4年4月時点の単価に振り直しを行ったが、資材高騰等のため入札の結果、不落となった。今回の補正予算については、令和4年7月時点の価格で算定を行っており、当初予算に比べると、建築主体工事が約2,700万円、電気設備工事が約500万円、機械設備工事が約100万円、外構

工事が約40万円、厨房機器設置工事が約600万円、備品家具工事が約40万円の増となっている。

(委員)

指名競争入札には何社が参加し、何回実施したのか。

(執行部)

6社が参加し、4回入札したが、すべて予定価格を上回り不落となった。

(委員)

最終的に不落になった場合に何か手段はないか。

また、指名競争入札を一般競争入札に代える考えはないか。

(執行部)

地方自治法施行令に規定されているとおり、再度指名競争入札をかけることになっていいることから、再度の入札を予定している。

本市においては、一般競争入札は行っておらず、全て指名競争入札としている。

◆観光振興費について

(委員)

「eバイクで岬めぐり」体験プログラム造成事業について、eバイクコースは具体的に決まっているのか。

(執行部)

在日外国人ライダーのコンサルティングにより、コースを選定する予定であり、特に松尾や足摺岬周辺、唐人駄場のコースを推奨し、コースを選定していきたい。

8月会議

予算決算常任委員会

令和4年度土佐清水市

一般会計補正予算

(第4号)について

◆社会福祉施設費について

(委員)

竜串福祉センター解体・改築工事に係る、工事請負費443万3千円の内訳について。

(執行部)

建築主体工事が約261万円、電気設備工事が約74万円、機械設備工事が約65万円、その他の工事が43万円となっている。

また、今回の補正は、入札が不落となったことから工事費の不足分を計上したものであり、補正予算が可決されれば再度入札を行う予定である。

産業厚生常任委員会

工事請負契約の締結について

◆新地場産品販売施設

建築工事について

(執行部)

令和4年7月25日に実施した指名競争入札の結果、2億9,920万円で有限会社笹工務店が落札したこと、予定価格1億5,000万円以上の工事請負契約となるため、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例

第2条に基づいて、議会の議決を求めるもの。

(委員)

入札に参加した業者数と落札率について。

(執行部)

入札に参加した業者数は6社、落札率は96・88%であった。

(委員)

工期について年度内に完成するのか、また、もし完成しなかった場合は補助金等に影響があるのか。

(執行部)

工期については令和5年3月15日までになっており、詳細な打ち合わせは本議案議決後に行う予定となっている。

補助金等への影響については、高知県産業振興推進総合支援事業費補助金は令和4年度当初予算であり、令和5年度に繰越すことが可能であるが、国の地方創生拠点整備交付金については、令和3年度繰越予算であり、仮に年度内に完成しなかった場合は令和5年3月末時点での

出来高を確認し、その範囲内での支払いとなる。

9月第2回会議

予算決算常任委員会

令和4年度土佐清水市

一般会計補正予算

(第5号)について

◆水産業振興費について

(委員)

共同加工施設脱臭装置設置工事について、臭いの原因は、硫化水素が中心とのことだが、匂いを数値化・可視化するような臭気のアセスメント調査ができていないのか。

また、この脱臭装置を設置することで本当に効果が出るのか。その効果が出なかつたらどうするのか。

(執行部)

市民課のほうで調査をしており、基準値以下となつている。

脱臭装置の効果については、専門業者とも協議した上で行なつているので、効果は出ると思っている。

効果が出なかつた場合は、また今後検討していく形になる。

(委員)

冷凍保管施設の室外機の防音工事について、下屋に振動を防止する措置をするとのことだが、民家からかなり離れている施設の裏手のほうに設置する案は検討しなかつたのか。

(執行部)

色々検討して、公平性を保つために設計士が総合的に判断して屋根の上に設置した。また、今後工事をするまでの間に色々検討し、裏に置いたほうがよいということであれば検討したいと思つている。

(委員)

冷却装置の音は、この騒音に影響していないのか。

(執行部)

冷却装置については特に問題はなく、空調のファンの音が一番大きく影響していると専門業者から聞いている。

◆災害対策費について

(委員)

事業の概要について説明を求める。

(執行部)

令和3年度の土佐清水市の防災行政無線デジタル化により、今まで音声のみであった伝達方法が、文字表示で伝達できることになり、聴覚障害で身体障害者手帳を持つ人に文字表示装置を配っている。

その中で、知らせるランプが小さくて気づきにくいというところがあり、今回、屋内信号装置というシステムを活用し、防災無線の音声戸別受信機の音声拾って、ランプで知らせる部分と、腕時計が振動して防災無線の放送が入っていることを知らせ、文字表示を見て内容を理解してもらおう仕組みとなっている。対象者は、聴覚障害2級の身体障害者手帳所持者9名となっている。

令和3年度土佐清水市

一般会計歳入歳出決算の

認定について

◆じんけん総務費について

(委員)

弁護士の無料相談事業について、令和3年度は15件あったということだが、どういった相談があったか。また会場はどこか。

(執行部)

去年から行っている弁護士無料相談の主な相談内容は、借金問題や家庭内でのトラブルなどが多くあった。

場所は、中央公民館の2階で行なつている。

(委員)

相談者15名の、地区別の相談人数は。

(執行部)

市街地の方が多い。

(委員)

非常にいい取り組みだと思うが、中央公民館を会場にすると、やはり市街地の人が集中すると思うので、地区別に、旧町単位で、市民センター辺りで対応

することも検討したらどうか。

また、基本的には人権に関わる問題で法律相談をするわけだが、事前に相談内容のスクリーニングみたいなことはしていないか。

(執行部)

まず初めに、無料相談の1か月前に広報にてお知らせをして、その時に事前連絡をしてもらい、内容の聞き取りを行う。その内容を弁護士にお伝えして、弁護士の抱える案件によつて対応できない場合があるが、概ね相談に応じている。

◆児童福祉総務費について

(委員)

ファミリーサポートセンター事業は各家庭で預かって頂くのがメインの事業だが、主に送迎援助が9件あったとのことであり、家での預かりはなかつたのか。

(執行部)

令和3年度の援助活動

数は9件となっており、全て送迎援助になっている。

ただ、春休み期間中に、家での預かりを希望する申請が2件あったが、直前に祖父母の支援が可能となりキャンセルとなった事例が2件あった。

(委員)

送迎はどんなやり方なのか、詳細について。

(執行部)

9件は自家用車で自宅まで迎えに行き、届けたい先まで送り届けるものであった。

(委員)

車はサポートする会員の自家用車とのことだが、事故への対策について。

(執行部)

ファミリーサポートセンターでは、援助活動中の事故やケガなどがあった場合の補償として保険に加入している。

(委員)

今後の見込みについて。

(執行部)

会員の中で、初めて預かる、初めて預けるとい

う話には聞いていない。とに不安等があるとの声があり、昨年度末に、会員同士の交流を図るため交流会を1回実施した。また、今年度については、預ける側、預かる側が一時的に預かりを体験できるように、1日限定2組程度、ファミリーサポートセンター内において一時的な預かりを体験できるように計画している。

(委員)

初年度の事業だが、利用者が9件で予算が900万円とのことだが、利用者が少ない気がする。その点はこのように分析しているのか。

(執行部)

コロナの影響というのは多少なりともあったとは思っている。近隣の市町村でも、やはりコロナの関係で、預ける側預かる側、両方とも不安な面が大きくキャンセルになった、もしくは預かる件数が減ったという声は聞いており、本市でも、やはり預かる・預けるといふことに躊躇があったと

いう話は聞いていない。

(委員)

会員数は、現在何人か。

(執行部)

現在、ファミリーサポート会員、子育ての援助を希望する方が43名、援助を行う方が20名。

◆林業振興費について

(委員)

6人が参加して、チェーンソーの技術を習得したとのことで、その中で色々な意見やアイデアも出たとのことだが、どのようなものが出たのか、また、この事業は森林環境譲与税を利用できるのか。

(執行部)

地区からは、林道の整備をしたい、地区の山を利用して森林遊歩道を作りたい、子供達の遊べる場を整備したい、植樹をしたい、間伐をしたいとの意見があった。また、本事業は森林環境譲与税を活用した事業となっている。

(委員)

例えば、針葉樹から広葉樹へとというような山の保全をしようというようなことも可能かどうか。

(執行部)

本事業は、未整備の森林を整備して、商売になるような山を整備しようという事業なので、そのまま広葉樹林化とか、針広混交林を作るということに使うことはないが、保育間伐をする中で、針葉樹と広葉樹が混ざった山に誘導されるということはある。

(委員)

モデル地区に選定した理由は。

(執行部)

森林環境譲与税を活用して地域の方々が取り組める事業を作りたいという構想が令和2年度にはあった。

しかし、ある程度の活動

力が必要なことと、当然山も必要であり、ちょうどその時に加久見地区が農事組合法人を立ち上げ、組織

力のある地区であったことから、こちらから打診してモデル地区としてやっていただいた。

(委員)

次の地区の選定はどのように考えているか。

(執行部)

本年度も予算を組んでおり、ホームページで公募したところ、大岐地区がやりたいということと、今交付決定に至っている。今年も実施してみても、たくさんの方ができれば、さらにオープンにしてやっていただきたい。

(委員)

木とともに子どもの成長を見守る事業について、よく新聞でも取り上げられた事業だと思いが、委託先はどちらか。

(執行部)

絵本の制作は、『18℃デザイン』という、市内のデザイン会社に依頼をし、絵を書いていただいたのは市内の絵本作家である『ひさまつまゆこ』さんにお願

いした。
(委員)

森をもりあげる担い手支援事業について、大変人気のある支援事業になっていて、購入に対しても市内の業者をとという話で、非常に皆さん喜んでい

る。この事業の課題として、これからは様々な角度からの支援が必要であろうということだが、どのようなことを考えているか。

(執行部)

研修は直営でやっており、機械の補助もしている。ただ、その後の自立については本人の努力となるが、この本人の努力だけで一人前になるということが難しいという側面もあるので、技術的な支援を中心に、さらなる支援の拡大について、令和5年度の事業拡大に向けて検討している。

総務文教常任委員会

◆地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

(執行部)

国家公務員法の一部改正に伴い、国家公務員の定年が引き上げられるとともに、管理監督職務上限年齢制(いわゆる役職定年)等の制度が設けられることにあわせて、本市においても関係条例を改廃するもの。

主な改正事項としては、土佐清水市職員の定年等に関する条例において、令和5年度から2年ごとに定年年齢の引上げに関する規定の整備を行うもので、令和13年度に定年年齢は65歳となる。

また、役職定年に関する規定の整備として、原則60歳に達した管理職については、翌年4月1日までに管理職以外の職のうち、できる限り上位の職に降任する規定を設け、必要があ

る場合は、引き続き管理職として勤務できる規定を整備する。

また、60歳に達した日後の最初の4月1日以降の給料月額を60歳時点の給料月額より7割水準とする規定の整備及び役職定年に伴い降任した職員の給料月額を、管理職として受けていた給料月額より7割水準が支給される規定を整備する。

(委員)

再任用の現制度の廃止、暫定再任用と短時間勤務について。

(執行部)

短時間勤務とは、フルタイムではなく週3日だけフルタイム勤務とするか、月曜日から金曜日の間に午前だけ勤務するといったように、勤務の形態がフルタイムとは違って短い勤務になる職員とのことで、令和5年度からは60歳以後の勤務について、7割水準でのフルタイム勤務又は定年前再任用短時間勤務を選択することに

なり、令和13年度までは、定年後は暫定再任用制度での勤務が可能になる。

産業厚生常任委員会

◆工事請負契約の締結について

(執行部)

土佐清水総合運動公園体育館屋根改修工事について、令和4年9月21日に実施した指名競争入札の結果、1億7,600万円

(委員)

で株式会社池工務店が落札したことから、予定価格1億5,000万円以上の工事請負契約となるため、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に基づいて、議会の議決を求めるもの。

(執行部)

指名競争入札に参加した業者数は何社か、落札率は。

(委員)

6社を指名し、応札のあった業者は、第1回目

が2社、第3回目

(委員)

が2社となっており、落札率は97.4%。

(執行部)

一般競争入札にしなかつた理由について。毎年4月に入札方針を出している。その方針の中で指名競争入札としているので、それに基づき指名競争入札を行った。

◆陳情第2号

「斧積地区、ウツギ新田の農地区画調査について」

贈与を受けた農地所在場所が、現況と所在地の状況が著しく異なっているため、場所(農地)の確定ができない現状や農地改良事業の経緯等の諸問題について、問題解決に向けた検討を求める内容の陳情。

(委員)

地図を参照に、斧積地区の当該土地についての説明があり、さらに当時、圃場整備をしたとき、登記をせずにそのままになっているということであり、そ



れを農業委員会に登記をしてくれないかという趣旨の相談であるとのこと、さらに斧積地区ではこの50年位は圃場整備したままで、全然問題なく来ている。

(委員)

土地改良区の中で農地改革の線引きをしてきた経過があり、当時の農業法人がどのような始末の仕方をしたかということ、それがはっきり出来ていればこのような問題にはならなかったのではないかと思う。

従って、この件について白黒はつきりさせることを議会に求めてくること自体が、違うのではないか。

(委員)

議会の取り扱える問題なのかどうか調べて見るのもよいのではないかと、も思うが、陳情の内容が議会になじまない、介入してもよいものか疑問に思われる。

以上の意見を踏まえ、採

決の結果、賛成なしにより不採択とすることに決定した。



委員会の活動報告

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会では、令和4年2月に完成した土佐清水市共同加工施設について施設の設備や稼働状況を把握し、基幹産

業である水産業の復興を目的としたメジカ産業再生プロジェクトの進捗状況を確認するため、7月7日に視察を行った。

共同加工施設は、本市の各節納屋が近い将来に起こりうる、高齢化等による働き手の不足と、煮熱の窯など機械の老朽化などによる設備投資等の課題を解消し、宗田節増産に努めていただくための施設とのことで、館内は外部との接触がある汚染ゾーンと消毒が徹底された清潔ゾーンに仕切られ、骨抜き等の加工には外部からの細菌等が混入しないよう細心の注意が払われていた。

7月14日、7月会議終了後に産業厚生常任委員会を開催し、視察後の協議を行った。

委員から施設の衛生面に関して称賛があった。

また、委員から臭いについての意見が出され、視察時にはあまり臭いを不快に感じる委員はいなかったが、一部の委員が視察後に施設運営者とともに浄化槽のふたを開け、臭いの確認をするとかなり悪臭がしたとの意見が出された。

全員協議会

9月26日、本会議終了後に全員協議会を開催し、子ども未来課から「保育園・小学校統合実施プラン」について説明があり、委員から「保護者等への説明会はいつからか。」との意見に対し、「まだ予定は決まっていないが、下川口保育園の統合からはじめたい。」との説明があった。

委員から「統合後休園に

なった保育園の建物はどういうように利用するのか。」との意見に対し、「現時点では地区から要望は出ていないが、利用するとなると補助金をもらって建てた関係で制限があり、すぐの利用は困難。」との説明があった。

その後、議会事務局から「新個人情報保護法施行に伴う土佐清水市議会における個人情報保護条例について」の説明がなされた。

議会事務局の説明終了後に、永野議員から今市議会議員選挙中に起きた土佐清水市職員個人情報の不正利用について、経緯の説明があり、出席した議員からの質問に対して、可能な範囲での回答があり、また、永野議員から道義的な責任は感じているので、改めて説明の場は設けるとのことだった。

令和4年度 政務活動費収支報告(前期分)

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり月額8千円(年間9万6千円)を政務活動費として交付しています。

なお、今年は議員の任期満了の年であるため、前期分(4月～9月)と後期分(10月～3月)の2回に分けて交付することとなるため、前期分の政務活動費収支内容について掲載しています。

(単位:円)

会派 (人数)	新風会 (5人)	議会会派 みらい (4人)	市民のこえ (2人)	無所属 (1人)	
期 間	令和4年4月～令和4年9月(前期分)				
交付額	240,000	192,000	96,000	48,000	
支 出	144,000	0	55,040	45,100	
明 細	調査研究費	144,000	0	0	
	研 修 費	0	0	0	
	広 報 費	0	0	55,040	45,100
	広 聴 費	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0
残 額	96,000	192,000	40,960	2,900	

主な内容

新風会 弘田 条 山崎 誠一 甲藤 眞 細川 博史 永野 裕夫	調査研究費	鹿児島県薩摩川内市柳山ウインドファーム及び日置市地域エネルギー視察(鹿児島県) ジャンボハイヤー貸切料金・高速道路利用料金・駐車場料金・フェリー代
会派みらい 谷口 佳保 武政 健三 作田 喜秋 浅尾 公厚		支出なし
市民のこえ 岡本 詠 前田 晃	広報費	通信、議会レポート印刷製本費(2分の1按分)
無所属 吉村 政朗	広報費	活動報告書印刷製本費(2分の1按分)

議長の活動報告

議長は年間を通じて議会を代表し、各種行事、式典や会合等に出席するほか、本会議において議事を整理し、議会の事務を統理するといった職務を遂行しています。

7月から9月までの議長の主な活動状況については、左のとおりとなっております。



- 7月 1日 高知県防衛協会土佐清水支部役員懇談会
10日 竜串桜浜海水浴場「海開き」
12日 高知市議会副議長就任挨拶のため来局
19日 国道321号線改良期成同盟会総会
26日 全国市議会議長会第162回地方行政委員会
- 8月 4日 ジョン万次郎NHK大河ドラマ化実現実行委員会
8日 第141回高知縣市議会議長会臨時総会(事務局長出席・香美市)
17日 令和4年度県道中村宿毛線整備促進期成同盟会監査
30日 土佐清水市経済団体連絡協議会懇談会
31日 令和4年度土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会定期総会(四万十市)
- 9月 29日 幡多管内市町村議会正副議長就任挨拶 往訪

※新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事や式典等が中止及び延期となっております。

中高生みらい議会が開催されました

7月20日、清水中学校・清水高等学校の生徒15名が議員となり、市政の課題などについて質す「中高生みらい議会」が市議会議事堂で開催されました。





- 7月 7日 議会運営委員会／産業厚生常任委員会(土佐清水市共同加工施設視察)
- 11日 議会だより編集委員会
- 14日 7月会議再開・散会／予算決算常任委員会／産業厚生常任委員会
- 19日 議会だより編集委員会
- 20日 中高生みらい議会
- 26日 議会運営委員会

8月 2日 8月会議再開・散会／予算決算常任委員会／産業厚生常任委員会

- 9月 7日 会派代表者会／新任議員会議
- 14日 第2回定例会9月会議開会・散会／議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
- 22日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会
- 26日 第2回定例会9月第2回会議再開／総務文教常任委員会
／産業厚生常任委員会／全員協議会

29日 議会運営委員会

- 10月 3日 質疑・一般質問
- 4日 一般質問／議会運営委員会
- 5日 一般質問
- 6日 予算決算常任委員会(予算審査)
- 7日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会
- 11日 予算決算常任委員会(決算審査)
- 12日 予算決算常任委員会(決算審査)／議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会
- 17日 第2回定例会9月第2回会議散会／議会運営委員会①／議会運営委員会②

編集後記

令和4年8月29日に、市議会議員選挙が行われ、新たな議員が2名誕生しました。今後の活躍を願っています。また前任の2名の議員が勇退されましたが、ご苦勞様でした。

また、地方公務員法の一部改正に伴う条例の整備に関する条例の制定については、令和5年度から2年ごとに定年年齢の引き上げに関する規定の整備を行うもので令和13年度に定年年齢が65才となるものですが可決されました。大きな変更となります。

年末を控え寒い日が続くと思いますが、風邪などひかず元気にお過ごし下さい。

委員長 弘田 条



市議会の傍聴について(お願い)

開催日程など詳細は、事前に議会事務局(☎(82)1112)までお問い合わせください。

次回の開催予定は12月上旬です。日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせいたします。

本会議の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を作成しています。会議の詳しい内容は会議録または、YouTubeをご覧ください。

どなたでも閲覧できますので、市民図書館・議会事務局へお越しください。

土佐清水市議会だより

編集委員会
委員長 弘田 条

新谷 英生
武政 建三
前田 晃
永野 裕夫